

新しい 国民的・民主的 共同へ 力をあわせる

自民党政治のゆがみをただし 極右・排外主義とたたかう

日本共産党

日本共産党の小池晃書記局長は16日、国会内で記者会見し、自民党のどの総裁選候補も裏金事件への反省がまったくなく、経済政策でも「物価高で悲鳴が上がっているときに、消費税減税には背を向け、まともな対策を打ち出せていない」と指摘。アメリカいなり・大軍拡も推進する立場で、排外主義に対抗する姿勢も全く見られないとして、「自民党がどの問題でも深刻な矛盾に陥っているということだ」と強調しました。

自民総裁選—極右・排外主義が加わる「反動ブロック」の危険 日本共産党—政治の歪みをただし、極右・排外主義とたたかう

小池書記局長は、総裁選候補が連立をもくろんで日本維新の会や国民民主党などの補完勢力にすり寄っていると指摘。アメリカいなり・財界中心という自民党政治のゆがみをそのままに、そこに極右・排外主義勢力が加わる“反動ブロック”が形成される危険が高まっている状況に対し、「共産党は政治のゆがみを正面から正し、極右・排外主義勢力とたたかう『二重の役割』を担うために奮闘する」と表明しました。



記者会見する小池晃書記局長＝16日、国会内

安保法制10年—廃止へ共闘をさらに進める

小池晃書記局長は安保法制の成立強行（2015年9月19日）から10年となることについて問われ、「安保法制を廃止する必要性が強まっている」と述べ、日本共産党が市民と野党の共闘を全力で進めてきたことにもふれながら、「まさにその共闘をさらに強める必要がある。それが今回、日本共産党第6回中央委員会総会で打ち出した“新しい国民的・民主的共同”であり、呼びかけを進めていきたい」と述べました。



自民・公明政権では政治は変わりません。

新しい共同へ力をあわせます

日本共産党は、他の野党・市民のみなさんと、国民的・民主的共同をひろげ、新しい政治への流れをつくるために全力をつくします。

党政策委員長・参議院議員（東京選挙区選出）

山添 拓

やまぞえ
たく



東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX03-5972-1590
2025年9月号外 日本共産党東京都委員会の訴えを紹介します。
発行/東京民報社（港区芝1-4-9平和会館5階）1965年11月12日 第三種郵便物認可